

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。



2021年
10月20日
発行
第253号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区芝大門2-7-9 錦島ビル2F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
Eメール shinro@shinro.org
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者 梶谷 充

2021年度 第2回中央委員会開催



九月十二日(日)、十三日(月)両日、参集並びにWebによるリモート会議において、全国より中央委員およびオブザーバー八十七名の参加のもと、二〇二二年度第二回中央委員会が開催された。

初日は、幹部研修会が同時開催され、日赤新労の顧問であり労働法学者、松岡二郎顧問を講師に迎え、「不当労働行為の使い方」をテーマとした講演を聴講した。(詳細は裏面にて)

研修会後、第二回中央委員会は出席中央委員二十六名、委任状三名で成立が確認され、議長に阿迦井功氏(大津日赤)、副議長に金光寛樹氏(三原日赤)、書記に松本良樹氏(今津日赤)が選出され、議題である二〇二二年度



中央執行委員長挨拶

日の連合の春季生活闘争まとめによると、賃上げは平均賃金方式で要求・交渉を行った組合のうち四千七百七十二組合が回答を引き出し、その加重平均は五百八十円、一・七八%となった。一時金については組合員一人あたり加重平均で、年間月数で四・六二か月であった。

八月十日の人事院勧告によれば民間給与との較差が極めて小さいことから、月例給の改定なし、一時金については年間四・三〇月分、〇・一五か月分の期末手当の支給月数引下げが勧告された。

研修会後、第二回中央委員会は出席中央委員二十六名、委任状三名で成立が確認され、議長に阿迦井功氏(大津日赤)、副議長に金光寛樹氏(三原日赤)、書記に松本良樹氏(今津日赤)が選出され、議題である二〇二二年度

一方、日赤においては、八月二十七日の団体交渉において、本社は賃上げに対し、人事院勧告と同様ゼロ回答であった。

Rプランについては各単組から頂いた意見を本社に提出し、新たな交渉の段階に入ったところである。協議事項についてはこの会議において、時間の許す限り皆さんの意見を聞かせてもらいたい。」

■ 報告事項 ■

一、各部報告

各部長より、二〇二二年度第一回中央委員会以降の各部(組織部・教宣部・調査部)活動報告が行われた。

二、一般経過報告

今年度ベアを含めた本社からの令和四年四月一日から実施に向けた提案「Rプランについて」を中心に、資料に基づいて本部活動報告が行われた。また、この会議直前の団体交渉において本社から提案された「救急救命士」の各施設での雇用状況を確認した。

■ 審議事項 ■

一、二〇二二年度ベアについて

本部より、八月二十七日(金)に開催された第八回団体交渉における本社回答(今年度給与の改定無し)を伝え、今後の日赤新労の闘争方針を中央委員に諮った。

協議の結果、今年度ベアについては引き続き第六十回定期全国大会で決定された定期昇給込み三・〇%(二万三千三百円)の額で、さらに交渉していくことで承認された。

二、年末手当について

本部より、今年度の法人業績運動部分は既に年間三十割(夏期手当十五割、年末手当十五割)と決定済みであることを伝え、年末手当の単組・施設間で決める施設業績運動部分に対して、日赤新労で行う統一要求について審議を求めた。

支給額の施設間格差はさらに広がっている中で、統一要求の必要性や統一額に疑問視する意見もあり、今後の統一要求のあり方についての検討を願う意見もだが、協議の結果、以下のとおり承認された。

- 【統一要求額】二十六割十一律三万円
- 【統一要求日】本部は十月四日(月)を統一要求日に指定した。

三、Rプランについて

本部より、第八回団体交渉において、本社に確認した九月実施予定の勤務評定制度のトライアルの取扱いと、新俸給制度への移行について、本社の意向を説明した。また、今後の交渉の進捗状況を説明し、今後の日赤新労の方向性を議論した。

日赤新労は今後本社に対して他の団体(全日赤、日赤労組)と連絡をとり、他の団体との話し合いがまとまれば、共に本社に対して共同で声明文を出すことが承認された。また日赤新労は、「Rプラン」については現段階では不利益が大きすぎ、到底納得できるものではないこと、令和四年四月一日実施に了承しないことを本社並びに施設に各単組の役員から伝えることが承認された。

四、第六十一回定期全国大会について

大会当日の役割分担の確認を行った。また決定されていないブロックまたは単組は、決定次第速やかに本部事務所まで連絡することを依頼した。

五、日赤新労結成六十周年記念式典について

粕谷準備委員長(愛知血七)から、委員会の報告が行われた。

【開催日】

二〇二二年二月二十日(日)十五時から

【場所】

浜松市内ホテル (アクトシティホテルオークラ浜松)

右記にて参集とWebとを併用して開催することが報告された。記念式典は第六十一回定期全国大会開催時に、初日の二十日間は記念式典のみとし、定期全国大会は二十一日、二十二日の二日間で行う。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で先行きが不透明ではあるが、式典の開催や記念誌の発行、組合員への記念品の配布を行う。次回の準備委員会は、第三回中央委員会時に開催して最終調整を行うこととした。

六、岩手県赤十字血液センター脱退について

長谷川組織副部長より岩手血七から日赤新労本部へ脱退の申入れがあり本部としても引き止めを行ったが、残念ながら九月末で脱退することになった経緯を報告した。

七、救急救命士の初任給格付けについて

九月十日(金)第九回団体交渉において、日赤における救急救命士の給与要綱の改定について本社からの経緯の説明を伝えた。また、既に四単組において救急救命士の職員がいることが確認できた。

【2面へ続く】

「Rプラン」初任給標準格付基準の提案について

速報 No. 1041にて2020年度第5回団体交渉における初任給標準格付基準表をお知らせしておりましたが、2019年度給与改定前の資料で作った俸給表でした。本社からは2020年度第10回団体交渉において俸給表の再提案がありましたので、改めて初任給をお知らせします。結果的には今の初任給標準格付基準と金額は変わりありません。

Table with columns: 適用俸給表, 職務内容, 学歴免許等, 初任給格付グレード号俸, 新給与額, 現行給与額, 国家公務員, 備考. It lists various job categories like 一般職, 医療職, and 福祉職 with their respective pay scales and conditions.

【一面から続き】

八、その他
○二〇二一年度調査事項について、未提出単組に提出するよう依頼した。
○二〇二一年度病院看護部意見集約書について、十一月六日に開催される病院看護部の資料にするため、十月十五日までに協力のできる単組は本部事務局まで提出するよう依頼した。

○津日赤より勤務評定制度のトリアルについて、役割行動評価表と意識・能力評価の記入方法について他単組へ状況の確認があった。
○第二ブロックより第六回団体交渉において、兼職の交渉について、「Rプラン」の交渉としては不適切ではないかとの意見が出された。(訂正)
速報No.106九号において、那須日赤からの意見としておりましたが、第二ブロックより訂正します。
○那須日赤より夏期手当の交渉で施設業績部分の交渉において質問があった。また、岡山日赤から経営状況を

*1 修正給与費等負荷率
(給与費+委託費) / (医業収益-材料費)
*2 労働分配率(%)
(人件費) / (施設が生み出した価値) x 100

把握するにあたり経営企画課から聞き出した、*1「修正給与費等負荷率」を算出して*2「労働分配率」とも呼ばれる施設が生み出した価値と人件費とを計算して、そこから出てきたパーセンテージを参考にするとのアドバイスがあった。



日赤新労単組新任役員研修会



六月二十六日、二十七日の二日間、令和三年度単組新任役員研修会を開催しました。昨年はコロナウイルス感染症の影響で開催を断念せざるを得ませんでした。今年度は通年通りとは行きませんが、全国より十六単組五十一名が参加し開催することができました。講師に日赤新労でおなじみの顧問松岡二郎先生を迎え働く職場のルールについて聴講しました。Web配信であったため、松岡先生の大きなポスターが、

2021 単組新任役員研修会

2021年度 幹部研修会

労働行為の使い方」として日赤新労の顧問でもある松岡二郎氏にご講演いただき聴講しました。コロナ禍でもありWebも利用し、全国より二十一単組五十一名が参加して開催することになりました。



松岡二郎氏
「労働行為の使い方」を再認識いただき、組合は何かができるのか、何をすべきかを含め、あらためて考えさせられることになりました。労働運動環境は厳しい状況ではありますが、各単組の組織強化にもつながる研修会となりました。(教宣部)

コーロップ、アメリカで労働界大戦後に憲法によって使関係が出来て厳しい労働環境の中で幾度となく弾圧を受けながら労働組合が結ぶようになっていきました。国より二十一単組五十一名が参加して開催することになりました。講師の松岡顧問より「労働組合は実行部隊」であることが大事。前掲で動くことが大事。松岡先生は「組合員から相手を繰り返され、第二次世